

## 別表 環境配慮を主体としたSDGs達成に向けた取組及び評価点

名古屋市では、令和元年7月に選定された「SDGs未来都市」として、持続可能な都市の実現をはかるための取組を進めています。SDGs達成には環境・社会・経済の統合的な取組が必要であり、このSDGsの17のゴールのうちの多くが環境に関連するものとなっています。なごやSDGsグリーンパートナーズの認定は、このSDGsの17のゴールに沿って取組の評価点を設定しています。評価点の合計ができるだけ高くなるよう、皆様の積極的な取組をお願いします。

### ① 環境配慮に関する項目

#### 《3 すべての人に健康と福祉を》

項目	細目	評価点	取組例など
3 生活環境	(1) 大気環境や水環境などへの配慮	1	・ 大気や水などの生活の保全に関し、法令の数値規定より厳しい自主的な数値目標を設定し、取組を実施

#### 《4 質の高い教育をみんなに》

4 環境教育	(1) 環境保全に関する教育の実施	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員への定期的な環境教育を実施（e-ラーニングを含む）</li> <li>・ 教育記録を作成</li> <li>・ 電子メールなどでの環境関連の双方向による情報配信（月1回以上）</li> <li>＊なごやSDGsグリーンパートナーズ取組手順の従業員への周知、取組結果の報告</li> <li>＊地球温暖化問題などの教育</li> </ul>
--------	-------------------	---	---

#### 《6 安全な水とトイレを世界中に》

6 水資源	(1) 節水の取組	1	・ 節水こまの設置、節水型トイレ・擬音装置・自動水栓の導入
	(2) 水の有効利用	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置などによる雨水利用</li> <li>・ 工程内で発生する洗浄水などを中水処理し、有効利用</li> </ul>

#### 《7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに》

7 新エネルギーなど	(1) 太陽光発電など	2	・ 太陽光発電・風力発電の導入かつ自家消費
		1	・ 蓄電池の導入・自家消費とともに、非常用電源としても活用
		2	・ バイオマス発電などのその他再生可能エネルギーの導入
	(2) 新エネルギーシステム	2	・ コージェネレーションシステム、燃料電池などの新エネルギーシステムの導入
	(3) 再生可能エネルギー電力の購入	1	・ 太陽光や風力などの再生可能エネルギーで発電された電力の購入
		1	・ 再生可能エネルギー比率50%以上

#### 《11 住み続けられるまちづくりを》

11 (a)自然共生	(1) 敷地内緑化（屋上緑化、壁面緑化の面積を含む）	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋上緑化、壁面緑化、緑のカーテンのいずれかを実施</li> <li>・ 敷地面積の10%以上20%未満の緑化の実施</li> </ul>
		2	・ 敷地面積の20%以上の緑化の実施
	(2) 水循環の確保	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所内に透水性舗装、浸透マス、浸透性側溝などの雨水浸透施設を設置</li> <li>・ 事業所内に保水性舗装などを実施</li> </ul>
11 (b)建築物	(1) 建築物の環境配慮	2	・ CASBEE名古屋 <sup>※</sup> において、Aランク以上の評価での届出
		1	・ CASBEE名古屋において、B+ランクの評価での届出

#### 《12 つくる責任 つかう責任》

12 (a)リサイクルの推進	(1) 用紙の削減、ペーパーレス化	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両面コピー、使用済み用紙の裏紙利用などによる全社的な紙の使用量削減</li> <li>・ 電子決裁、電子掲示板、会議資料の電子化などによる全社的なペーパーレス化の実施</li> </ul>
	(2) 古紙の分別回収など	1	・ 新聞・雑誌・段ボール・OA用紙のほか、雑がみ（チラシ、紙箱など）、機密書類の分別
	(3) 事務用品・文具のリユースなど	1	・ 事務用品や文具の適切な管理、使用済み封筒などの再利用

	(4) 食品ロスの削減	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員食堂などでの食べきりなどの呼びかけ、実践</li> <li>フードドライブ<sup>※</sup>の実施</li> <li>事業活動から発生する食品ロスの削減への取り組み（食品関連事業者）</li> <li>「食べ残しゼロ協力店」への登録（飲食店、宿泊施設）</li> </ul>
	(5) 生ごみのリサイクル	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ資源化施設への搬入、生ごみ処理機などによる処理</li> </ul>
	(6) 自社製品、販売品の回収	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済み自社製品の回収、リサイクルシステムの導入</li> <li>紙パック、食品トレイなどの店頭回収の実施</li> </ul>
	(7) 輸送時の廃棄物の削減	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>通い箱・袋（繰り返し使用する梱包材）の導入</li> <li>梱包材の構造の改良、簡素化による梱包材使用量の削減</li> <li>発泡スチロール箱などの梱包材のリサイクル</li> </ul>
	(8) その他発生抑制、リサイクルの取組	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>使い捨て製品・容器包装の購入・使用を削減</li> <li>製造工程で、廃棄物の発生を抑制、発生したものをリサイクル</li> <li>製品のライフサイクル全般にわたる、環境への影響を考慮した企画・設計の実施</li> <li>せん定枝・落ち葉・廃食用油のリサイクル</li> </ul>
12 (b) グリーン購入	(1) 環境ラベル商品などの購入、使用	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>OA用紙・文房具類の購入、使用</li> <li>その他（作業服、名刺など）の購入、使用</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境ラベル商品などの購入基準・リストを作成</li> </ul>
	(2) 環境に配慮した建設資材の利用	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」（グリーン購入法）の公共工事に関する分野にかかる資材の利用を公共工事以外でも積極的に実施</li> </ul>
12 (c) フェアトレード <sup>※</sup>	(1) フェアトレードを取り入れた事業活動の実施	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアトレード商品を販売・購入</li> </ul>
		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際フェアトレード認証の取得</li> </ul>

### ＜ 13 気候変動に具体的な対策を ＞

13 (a) 自動車利用	(1) 自動車利用の抑制	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員のマイカー通勤の禁止又は制限</li> <li>通勤・業務における公共交通機関や自転車の利用促進、カーシェアリングの導入、社用車の車両削減・廃止</li> <li>テレワークやウェブ会議による移動の削減</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>車種ごとに燃費を管理し、燃費を改善</li> <li>定期的エコドライブに関する講習を実施</li> </ul>
	(3) 次世代自動車の導入	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、燃料電池自動車、車両総重量3.5t超のポスト新長期規制以降適合ディーゼル車の導入</li> <li>上記の保有台数が自動車全保有台数の50%以上</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車を保有しており、その保有台数が50%未満</li> </ul>
	(4) 環境に配慮した輸配送	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>他社との共同輸配送、モーダルシフト（幹線貨物輸送をトラックから鉄道や海運に転換する）など効率的な輸送の実施</li> <li>宅配便再配達防止の取組み</li> </ul>
13 (b) 省エネルギー	(1) 日常的な省エネルギー対策の実施	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコスタイルなどによる室内温度の適正化、空調時間の短縮化などの全社的な実施</li> <li>照明ランプ、空調フィルターの定期的な掃除の実施</li> <li>不用照明の消灯、OA機器の不使用时のスイッチオフなどの全社的な実施</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー推進組織を設置</li> <li>各部署ごとに省エネ（環境）担当者を配置</li> <li>エネルギー使用実績をグラフ化するなどして従業員に周知</li> </ul>
	(3) 高効率な省エネルギー機器の導入	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記の取組のどれかを実施（事業所の一部での実施も含む）</li> <li>LED照明の導入</li> <li>廊下やトイレなどの照明に人感センサーなどによる自動点滅を導入</li> <li>屋外照明に人感センサー、タイマーなどによる自動点滅を導入</li> <li>省エネタイプの誘導灯を導入</li> <li>複層ガラスなどによる建屋断熱強化、日射遮蔽の導入</li> <li>その他省エネルギー機器の導入</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記（LED照明、屋内の人感センサー、複層ガラス）のうち事業所の設備の半数以上で実施</li> </ul>
(4) 製品開発・生産プロセス改善	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した製品開発をするためのガイドライン策定</li> <li>工程の短縮化・連続化・熱のカスケード利用など</li> </ul>	

	(5) 電力の平準化	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デマンド監視装置などを利用してピークカット</li> <li>・ ピークシフトのための取組</li> </ul>
	(6) その他省エネルギー対策	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空調室外機の定期的な清掃、電気式給湯器や便座を季節ごとに調整</li> <li>・ コンプレッサーのエアリークの定期的なチェック</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サーキュレーターや扇風機などを使用した室内温度一定の取組</li> </ul>
13 (c)環境管理	(1) ISO14001、50001※の認証取得	6	
	(2) エコアクション21の認証取得	6	
	(3) 環境管理システムの導入(ISO14001、50001、エコアクション21の認証を取得していない事業所に限ります。)		
	ア 実績集計	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気・ガス・水道・廃棄物・紙・自動車燃料の使用量などのうち、必要なデータを1年以上集計</li> </ul>
	イ 削減目標	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記の削減目標を設定</li> </ul>
	ウ 取組手順	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に関する取組手順を決め、定期的に取組内容や削減目標の見直しを実施</li> </ul>
	(4) 環境報告書の作成など	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下記の取組を申請事業所が主体になって実施</li> <li>・ 環境報告書の作成、配布、ホームページなどによる公表</li> <li>・ 環境会計の導入、開示</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記取組を申請事業所は主体ではないが、関与して実施</li> </ul>	
13 (d)COOL CHOICE	(1) COOL CHOICEの取組実施	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COOL CHOICEへの賛同登録</li> </ul>
13 (e)カーボン・オフセット※	(1) カーボン・オフセットの取組実施	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Jクレジット※などのクレジット制度を利用して、カーボン・オフセットの取組を実施</li> </ul>

#### 《14・15 海と陸の豊かさを守ろう》

14 (a)海洋プラスチック	(1) プラスチックの削減	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワンウェイのプラスチックの使用削減</li> </ul>
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品やサービスで使用するプラスチックを紙や木材などの生分解可能な素材に代替</li> </ul>
14 (b)生物多様性	(1) 事業活動と生物多様性の関わりの認識	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原料調達や廃棄物の排出など、事業活動が生物多様性に影響を与えることに配慮する必要があることを環境方針に掲げるなど、従業員が認識を共有</li> </ul>
	(2) 生物多様性に配慮した事業活動の実施	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物多様性に配慮した製品※、サービスを販売・購入</li> <li>・ 国内産木材の積極的利用</li> <li>・ 事業所内にビオトープ※などを設置</li> </ul>
	(3) 生物多様性に配慮した認証を取得	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林認証※や漁業認証※などの取得</li> </ul>

#### 《17 パートナリシップで目標を達成しよう》

17 (a)社会貢献活動の実施	(1) 一般的取組	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における美化活動、リサイクル活動などに参加</li> <li>・ 環境に関連したNPOなどへの支援</li> </ul>
	(2) 社会への波及性の大きな取組	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に関する支援・公開講座などを主体となって実施</li> <li>・ 環境に関連したパンフレットなどを作成し、一般に配布</li> </ul>
	(3) 本市の環境施策への協力	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なごや環境大学での講座運営</li> <li>・ 環境デーなごやに協賛</li> <li>・ その他本市環境施策への協力</li> </ul>

#### ② その他の項目

#### 《5 ジェンダー平等を実現しよう》

5 男女平等参画	(1) 女性の活躍推進	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「女性の活躍推進企業」の認定</li> <li>・ 「女性の活躍推進（中小企業認証部門）」の認証</li> </ul>
----------	-------------	---	--

#### 《8 働きがいも経済成長も》

8 各種支援企業	(1) ワーク・ライフ・バランスの推進	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ワーク・ライフ・バランス推進企業」の認証</li> </ul>
	(2) 障害者雇用	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「障害者雇用促進企業」の認定</li> <li>・ 「障害者雇用企業」の認定</li> </ul>
	(3) 子育て支援	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子育て支援企業」の認定</li> </ul>

※

CASBEE名古屋	建築環境総合性能評価システム（CASBEE）の名古屋版であり、建築物の環境品質・性能と環境負荷を総合的に評価するシステムで5段階の評価（S、A、B+、B-、Cランク）がある
フードドライブ	家庭で消費しない食品を持ってきてもらい、それらをまとめて生活に困っている方や地域の福祉団体・施設などに寄付する活動
フェアトレード	公正な貿易であり、開発途上国の生産者などが人間らしく暮らし、より良い暮らしを目指すため、正当な値段で作られたものを売り買いすること
エコドライブマイスター	事業所内でのエコドライブ推進者として名古屋市が認定した者
ISO50001	エネルギー管理体制の継続的な改善を実施するための国際規格
カーボン・オフセット	できるだけ温室効果ガスの排出削減努力を行っても、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量と同等の温室効果ガスの削減・吸収量を購入することで、排出される温室効果ガスを相殺（オフセット）する考え方
Jクレジット制度	温室効果ガス排出削減のクレジット制度
生物多様性に配慮した製品	下記に示すような生物多様性に関連が深い環境ラベルの認証を取得した製品など
森林認証	森林が環境・経済・社会的に適切に管理されていることや、林産物の流通などを第三者機関が認証する制度（FSC認証など）
漁業認証	漁業の持続可能性、水産物の流通などを第三者機関が認証する制度（MSC認証など）
その他	生物多様性に配慮した金融商品、レインフォレスト・アライアンス認証など
ビオトープ	開発などで本来の自然環境が失われた場所に、人工的に創造した生物の生息・生育空間

### エコドライブ10のすすめ

1.燃費の把握 2.ふんわりスタート 3.車間距離の確保 4.早めのアクセルオフ 5.エアコンの使用を控えめに 6.アイドリング・ストップ 7.道路交通情報の活用 8.タイヤの空気圧をこまめにチェック 9.不要な荷物は積まずに走行 10.駐車場所に注意	自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。 やさしい発進を心がけましょう。（最初の5秒で時速20kmが目安です。） 車間距離は余裕をもって、速度変化の少ない運転を心がけましょう。 エンジンプレーキを積極的に使しましょう。 車内を冷やしすぎないようにしましょう。 無用なアイドリングをやめましょう。 出かける前に地図やカーナビなどを利用して渋滞や交通規制などの情報をチェックしましょう。 タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう。 不要な荷物を積まないようにしましょう。 渋滞などの原因となることから、迷惑駐車はやめましょう。
---	--

エコドライブ普及推進協議会「エコドライブ10のすすめ」を基に作成